

2020年度 ならコープ環境保全活動助成団体報告集の発行にあたって

ならコープは創立以来、「よりよい生活は、平和とよりよい環境の中でこそ実現する」と考え環境保全活動を基本理念として位置づけ、すべての活動の基本としてきました。マイバッグ運動の取り組みは、1982年から組合員にレジ袋の有料化への理解と協力を呼びかけながらすすめて、2007年9月からは全店でのレジでの清算方式での有料化を導入し、プラスチック資源の使用量を削減する消費者運動として大きく広がりました。レジ袋代金は環境資金としてきましたが、その一部を活用した環境保全活動団体への助成金制度を2005年度から設置し、2020年度までの16年間で、のべ306団体に対し、計13,764千円の環境保全活動助成を行うことができました。2021年2月に開催した「ならコープ環境保全活動助成団体交流会」は、オンラインを併用して開催し、団体の紹介、活動についてはコロナ禍でのご苦労、工夫なども交えてご報告いただきました。感染予防をしながらの活動状況、活動への熱い思いをお聞きし、本助成制度で各団体の活動を支援できた意義を確認することができました。今回発行する「2020年度 ならコープ環境保全活動助成団体報告集」で各団体の活動報告をご確認ください。ならコープのすすめるマイバッグ運動、レジ袋削減に取り組む背景や目的・意義、レジ袋代金＝環境資金の活用状況へのご理解と各地域での環境保全活動への参加がさらに広がることを願っています。

災害級の酷暑、豪雨・台風・豪雪などの異常気象によっておこる気候災害は、毎年のように世界各国で深刻な被害をもたらしています。地球温暖化、プラスチック問題などが生態系に及ぼす影響は、ニュース等で聞くのみならず、身近なところでも見られるようになってきています。2020年は、コロナ禍で社会や経済が変わり、世界の人為起源の温室効果ガスの排出量に変化があったと言われていています。気象庁は、2021年3月末に「2020年（1月～12月）の二酸化炭素の観測結果を取りまとめたところ、地上観測地点、観測船による北西太平洋域の洋上、航空機による日本の南東上空の濃度はいずれも観測史上最高を更新」「新型コロナウイルス感染拡大に伴う移動制限措置等の影響により、2020年の世界の人為起源の二酸化炭素排出量は、前年に比べ減少とグローバル・カーボン・プロジェクト（GCP）で報告されていますが、その減少量は大気中の二酸化炭素濃度の自然の年々変動の範囲内であり、大気中の二酸化炭素濃度の観測データからは検出できません。日本付近における大気中二酸化炭素濃度は引き続き増加」と発表しています。地球レベルでの環境問題の改善効果は、粘り強い取り組みによってみえてくるでしょう。コロナ禍が収束し、安心安全に生活できる日を1日も早く迎えたいものですが、省エネルギー、省資源型の社会への変革と再生可能エネルギーの活用をすすめて、地球環境の悪化を防いでいかねばなりません。

2020年9月、ならコープは「ならコープの2030環境ビジョン」を策定しました。2030年にビジョンが事業と活動で達成できるよう、具体的な計画づくりと遂行に向けた取り組みをすすめているところです。ビジョンの基本的な考え方は、①奈良の豊かな自然を次世代の子どもたちに残す ②大量生産・大量消費・大量廃棄の使い捨て文化からの脱却 ③国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の具体化 ④エネルギー問題・ごみ問題「食品ロス・海洋プラスチック」の解決 の4点と、2050年にゼロエミッションを実現することを掲げています。この度、奈良県で策定された「奈良県環境総合計画2021-2025」に示された基本構想には、「奈良ならではの「豊かな自然と歴史との共生、美しい景観と持続可能なくらしの創生」を目標に、「2050年までに二酸化炭素等の温室効果ガス排出実質ゼロにする脱炭素社会の構築を目指します」と掲げられています。こうした行政の計画に基づく具体的な施策や各地域の皆様の素晴らしい活動とも連携・協力し、環境保全活動の輪を組合員と共に更に大きく発展していくことが、ビジョン達成に向けて欠かせません。

「より良い生活は、平和とより良い環境の中でこそ実現する」、みんなの力を合わせてすすめてまいりましょう。

市民生活協同組合ならコープ
理事長 中野 素子

2020年度環境保全活動助成団体一覧

| | 団 体 名 | 主な活動 地域 | 助 成 事 業 テ ー マ |
|----|---------------------|------------|---|
| 1 | 蒼池の会 | 奈良市 | 蒼池の自然環境を守り活かす活動 |
| 2 | 秋篠川源流を愛し育てる会 | 奈良市 | 秋篠川の堤防をソーラーライトで明るく安全な遊歩道に！ |
| 3 | アースデイ奈良2020実行委員会 | 奈良市 | アースデイ奈良2020 「RE100宣言」再生可能エネルギーでいこう！ |
| 4 | いこま棚田クラブ | 生駒市 | 生駒市西畑地区の棚田・里山の再生と創造 |
| 5 | NPO法人いこま山の子会 | 生駒市 | いこま山のようちえん親子体験会 |
| 6 | 特定非営利活動法人うだ夢創の里 | 宇陀市 | 安心安全な食が地球を守る |
| 7 | 馬見シェアリングネイチャーの会 | 北葛城郡 | ネイチャーゲームや自然体験活動を通して、自然を楽しみ 自然と遊び自然を学ぶ喜びを知る |
| 8 | 馬見自然塾 | 北葛城郡 | 見て」「聞いて」「触って」「嗅いで」「食して」の五感を基本とした馬見丘陵公園の定点観察会 |
| 9 | NPO法人エコパートナー21 | 奈良市 | 子どもたちと食・農・環境への理解を深める活動 |
| 10 | 笑郷（えこ）まほろばの会 | 香芝市 | 二上山山麓の貴重な自然と歴史を学び、子どもたちに伝える |
| 11 | 特定非営利活動法人宙塾 | 奈良市 | 菜の花プロジェクトによる環境啓発活動 |
| 12 | 春日原始林を未来へつなぐ会 | 奈良市 | 春日山原始林観察会の実施 |
| 13 | 川西町・サークルお花畑 | 川西町 | 環境美化活動「花とみどりのまちづくり」 |
| 14 | NPO法人グリーンスポーツ奈良 | 奈良市 | 自然・環境を大切にする心の育成 ダンボールコンポストで生ごみを有機肥料に変える活動を通して |
| 15 | 特定非営利活動法人サークルおてんとさん | 奈良県 | 地球温暖化防止やエネルギー問題に関する講演会の開催 |
| 16 | 里山の山野草を守る会 | 桜井市 | 里山の山野草を守る保全活動 |
| 17 | 町忠会 | 奈良市 | 五カ谷の里の景観を守り、この地域の発展と活性化に寄与すると共に会員相互の親睦を図る |
| 18 | 奈良・人と自然の会 | 奈良市 | 「ならやま景観整備事業」のビオトープ池整備および絶滅危惧種「ニッポンバラタナゴ」の育種環境の安定化 |
| 19 | 平群里山クラブ | 平群町 | ナラ枯れ対策による雑木林の景観保全と広葉樹の育苗・植樹 |
| 20 | 山守の会プラス彩雲ひろば | 奈良市 | 里山林の保全と利用促進 |
| 21 | 緑友会 | 奈良県 | 歴史と環境に配慮した景観保全活動 |

| | |
|---------------|---|
| 団体名 | 蒼池の会 |
| 事業テーマ | 蒼池の自然環境を守り活かす活動 |
| 主な活動場所 | 奈良市学園朝日町 蒼池 |
| 助成事業の成果・メッセージ | 毎月、葵池の美化・清掃活動を行い、ナガオカモノアラガイの保護も含めて池の自然環境を保全した。11 月には葵池で観察会を行った。10 月、奈良市長への蒼池保全活動のための会からの要望書について市長と意見を交わし、11 月 15 日に奈良市長と関係課長などによる蒼池への視察を実現し、12 月 3 日、奈良市からの文書で、「総合的施策を策定し、市民との協働で蒼池の自然環境を守っていく」との回答を得た。 |



| | |
|---------------|--|
| 団体名 | 秋篠川源流を愛し育てる会 |
| 事業テーマ | 秋篠川の堤防をソーラーライトで明るく安全な遊歩道に |
| 主な活動場所 | 奈良市中山町西 1 丁目～4 丁目 |
| 助成事業の成果・メッセージ | 部分的ではあるが堤防路面が明るくなり、とりわけ夏にウォーキングをする人に対して安心感を与えた。また、これらの地味な活動が実って、奈良市長が安全快適な散策路実現に向け検討会を設けると約束してくれた。 |



| | |
|---------------|--|
| 団体名 | アースデイ奈良 2020 実行委員会 |
| 事業テーマ | アースデイ奈良 2020 「RE100 宣言」再生可能エネルギーでいこう！ |
| 主な活動場所 | オンライン（主にフェイスブック） |
| 助成事業の成果・メッセージ | RE100 についての情報発信に助成金を活用させていただきました。今回は奈良公園でのイベントが開催できませんでしたので、動画配信などオンラインでの開催となりました。ステージ出演者やブース出展予定団体が力作の動画を作成してくださり、充実した内容で開催することができました。またパンフレットにてメッセージを発信しました。何度でも繰り返し観られるコンテンツができたことは「毎日がアースデイ」に近づく一歩となったように感じます。 |



| | |
|---------------|---|
| 団体名 | いこま棚田クラブ |
| 事業テーマ | 生駒市西畑地区の棚田・里山の再生と創造 |
| 主な活動場所 | 生駒市西畑町の棚田、里山（向山） |
| 助成事業の成果・メッセージ | 活動を始め18年目になる。今年は新型コロナウイルスの感染拡大で数々のイベントが中止になっている。そんな中で自然と触れ合いたいと言う小学生を中心としたグループが棚田を訪れて楽しく遊ぶ姿を見て自然の大切さを改めて思う。ならコープさんも新しく棚田で菜の花の栽培を中心に親子で自然体験をする「ならっぴチーム西畑」を立ち上げ、2020年10月より我々と共に毎月1回の活動をはじめた。素晴らしいことと思う。 |



| | |
|---------------|---|
| 団体名 | NPO 法人いこま山の子会 |
| 事業テーマ | いこま山のようちえん親子体験会 |
| 主な活動場所 | 生駒山 滝寺公園付近 |
| 助成事業の成果・メッセージ | 今年度は、応募や問い合わせも多く自然体験活動に対する関心の高まりを感じた。未就園児の親子も多かった。自然の中では、生き物や、季節によって植物も変化し、子ども達も伸び伸びと楽しんでいて、保護者の方もスタッフに子育ての不安などを話したり、自然の中で遊ぶ心地よさを体感されていた。自然環境の大切さを学ぶ場でもあり、子どもだけでなく大人にとっても自然体験の大切さや必要性を感じる機会となった |



| | |
|---------------|--|
| 団体名 | 特定非営利活動法人うだ夢創の里 |
| 事業テーマ | 安心安全な食が地球を守る |
| 主な活動場所 | うだ夢創の里 |
| 助成事業の成果・メッセージ | 発酵が、私たちの健康な体を守ってくれる。私たちを取り巻く環境が大きく転換しています。除菌ということが声高に言われますが、私たちを守ってくれる大切な菌たちを安全に注意して大切にすることが、地球環境をも守ることに繋がっていると学びました。安全に食物を育て、発酵の力を借りてより安心安全な食を自ら作り出そうと大豆、米、麴を育て味噌を作ることに取り組みました。 |



| | |
|---------------|---|
| 団体名 | 笑郷まほろばの会 |
| 事業テーマ | 二上山山麓の貴重な自然と歴史を学び、子どもたちに伝える |
| 主な活動場所 | 奈良県香芝市 二上山・屯鶴峯 周辺 |
| 助成事業の成果・メッセージ | コロナ禍で、予定していた多人数での事業、子ども達との活動は控えた。リノベーションした空家（竹の杜）を拠点として自然観察や公園整備に関する情報、人材の発掘に努め効果を上げた。アースデーやキャンドルナイト等もコミュニティのなかで ZOOM を活用して実施した。竹の杜の近くを流れる原川、屯鶴峯周辺の植物調査、木の実や発酵菌、苔を活用したものづくりも取り組み、環境教育技術を習得するとともに地域の人材を発掘した。 |



| | |
|---------------|--|
| 団体名 | 特定非営利活動法人宙塾 |
| 事業テーマ | 菜の花プロジェクトによる環境啓発活動 |
| 主な活動場所 | 奈良市 |
| 助成事業の成果・メッセージ | 菜の花プロジェクトは、自然の循環の仕組み、ごみ、エネルギー、食の安全、地産地消、地域のつながり、歴史文化とのつながりなど、様々な分野での学びにつなげられる素晴らしい教材なので、各学校の特性に合わせて、組織的にサポートできる体制づくりを目指していきたい。 |



| | |
|---------------|--|
| 団体名 | 春日原始林を未来へつなぐ会 |
| 事業テーマ | 春日山原始林権観察会の実施 |
| 主な活動場所 | 春日山原始林 |
| 助成事業の成果・メッセージ | コロナ禍の中であったが、参加定員などを抑えて無事に4回の観察会を開催することができた。今年は、シダやキノコなど、特に自然の中でも愛好家のいるテーマの設定では、多くの参加をいただくことができた。 コロナの状況下であるからこそ、自然との交感は重要であると考え、次年度もこの観察会を継続して実施していきたい。 |



| | |
|---------------|---|
| 団体名 | 川西町・サークルお花畑 |
| 事業テーマ | 環境美化活動「花とみどりのまちづくり」 |
| 主な活動場所 | 川西町各所：結崎公民館 近鉄結崎駅構内等 |
| 助成事業の成果・メッセージ | 今年度初めの4月にこれまでの主たる活動拠点の近鉄結崎駅周辺の整備事業が始まり、結崎公民館へと移動した。そこで新たに花壇を新設し、大小のプランターも設置して四季の草花の栽培と維持管理・周辺の美化活動をしている。しかし昨年来のコロナ禍で、屋内の活動は自粛せざるをえなかったが、屋外の活動は従来通り定例の毎土曜日午前と他に随時必要に応じて灌水作業を行った。今後は状況を見て地域づくりの交流も再開していきたいと思っている。 |



| | |
|---------------|--|
| 団体名 | NPO 法人グリーンスポーツ奈良 |
| 事業テーマ | 自然・環境を大切にする心の育成 ダンボールコンポストで生ごみを有機肥料に変える活動を通して |
| 主な活動場所 | 奈良県斑鳩町役場 奈良市鼓阪北小学校 |
| 助成事業の成果・メッセージ | コロナ禍の中、当初の活動に対して大幅に内容の変更をお願いし、実施させていただきました。奈良県斑鳩町で、3回ダンボールコンポスト（DC）講習会を開催し、25人の参加がありました。奈良市立鼓阪北小学校4年生（11人）教室で、生ごみを有機肥料にリサイクルする学校 出前講座を実施しました。世界ではCO2の大量排出により、地球温暖化が進み、環境の大切さを伝えることができ、又生ごみリサイクルにも取り組んでいただきました。 |



| | |
|---------------|---|
| 団体名 | 特定非営利活動法人サークルおてんとさん |
| 事業テーマ | 地球温暖化防止やエネルギー問題に関する講演会の開催 |
| 主な活動場所 | 奈良県文化会館 小ホール |
| 助成事業の成果・メッセージ | 気候非常事態の今、コンセントのこちら側でコツコツ節電しても間に合わず、コンセントの向こう側（発電方法）をどう変えていくかが大切である。そのための政策転換（石炭火力発電をなくす）に声を上げていくことが必要であり、自然エネルギー移行で職を失う化石燃料関係の労働者に新しい雇用を準備する「ジャスト・トランジション（公正な移行）」が求められると話された。参加者にとってとても説得力のある講演だった。 |



| | |
|---------------|--|
| 団体名 | 里山の山野草を守る会 |
| 事業テーマ | 里山の山野草を守る保全活動 |
| 主な活動場所 | 桜井市三谷とその周辺地区 |
| 助成事業の成果・メッセージ | 桜井市三谷とその周辺地域で山野草自生地の保全活動を会員68名で5班に分かれ実施してきたが今年はコロナの影響で休会することが多く十分な活動はできなかった。其々のフィールドでは奈良県のレッドデータブックに記載されている多くの山野草が自生しているの、各班が有志で観察・保全活動を行ってきた。十分な保全活動には至らなかったが重要な山野草の保全は継続することができた。早期のコロナの収束を願うばかりである。 |



| | |
|---------------|---|
| 団体名 | 町思会 |
| 事業テーマ | 五ヶ谷の景観を守り、この地域の発展と活性化に寄与するとともに会員相互の親睦を図る |
| 主な活動場所 | 奈良市高樋町（旧添上郡五ヶ谷村字高樋）及び、その周辺地域 |
| 助成事業の成果・メッセージ | 昨年度完成した、活動拠点としてのビニールハウスは、有効に活用しています。横に作った小さな野菜売り場では、私たちが作った野菜の他、近隣の農家が作った作物なども格安で販売しています。又、野菜を買いに来たお客様に私たちの活動を知って頂く場として、写真等も展示しています。助成頂いたお金は、野菜作りに必要な資材や肥料などに充当させていただきました。今後も活動支援をお願い致します |



| | |
|---------------|--|
| 団体名 | 奈良・人と自然の会 |
| 事業テーマ | 「ならやま景観整備事業」のビオトープ池整備および絶滅危惧種「ニッポンバラタナゴ」の育種環境の安定化 |
| 主な活動場所 | 奈良県奈良市佐紀町、奈良阪町にわたる「ならやま里山整備事業地」内ビオトープ池 |
| 助成事業の成果・メッセージ | 常に除草と池の点検を行い、西池では定期的生物調査を実施した。竹・杭・波板・ブロック等で池・水路の補修を行ったことにより、泥の流入が抑えられ、池の崩壊を防ぐことができた。池エリア全体は、菖蒲・睡蓮・蓮など水辺の花が彩りを添える環境となった。ニッポンバラタナゴの育種に関しては、タガイ、ヨシノボリとの共生が重要課題となるが、本年度もタガイの育種はうまくいかず、来年度はタガイ育種の為の専用池造成を目指す。 |



| | |
|---------------|--|
| 団体名 | 平群里山クラブ |
| 事業テーマ | ナラ枯れ対策による雑木林の景観保全と広葉樹の育苗・植樹 |
| 主な活動場所 | 奈良県生駒郡平群町櫛原 通称、カチカチ山と周辺の雑木林、竹林、桜林 |
| 助成事業の成果・メッセージ | 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、保全活動は縮小となりました。ナラ枯れ被害木の伐採は完了、倒木処理と広葉樹植林は継続実施しています。また子供達対象の自然体験教室や地域イベントは中止となりましたが、コロナ禍でも地域の方々にカチカチ山を開放、身近な自然と触れ合う場として里山の大切さを伝える事が出来ました。今後も里山を大切にする活動を通して、自然の営みを守る大切さを伝え続けて行きます。 |



| | |
|---------------|---|
| 団体名 | 山守の会プラス彩雲ひろば |
| 事業テーマ | 里山林の保全と利用促進 |
| 主な活動場所 | 桜井市 |
| 助成事業の成果・メッセージ | <ol style="list-style-type: none"> 1. 里山林保全活動の展開 森林内にある桧林の間伐の実践健全化を図り CO2 の吸収力を高め、環境保全に努めます。 2. 教育、研修活動の場の提供 小学生をはじめ多くの都市住民を里山に積極的に受け入れ、共同して林内散策や木の伐採、剥皮、更にはのこぎり体験を通しての木工等々活動の中で森林の働きや木の温もりと良さを伝えます。その上で将来森林について興味を持ってくれる人が現れるよう望みます。 |



| | |
|---------------|---|
| 団体名 | 緑友会 |
| 事業テーマ | 歴史と環境に配慮した景観保全活動 |
| 主な活動場所 | 「古都法買入地景観形成事業」 西ノ京エリア (奈良市五条1丁目 445-23 ほか) |
| 助成事業の成果・メッセージ | <p>今期活動は新型コロナウイルス感染症対策で、活動時間にも制約を受けました。感染は食事ときが多いということから、半日のみの活動とし、臨時の活動日を設けることにより、活動時間を補い景観の保持に努めました。</p> <p>環境では、引続き雨水利用、農業用プラスチック類の使用削減や素材の変更(右写真)を進めました。子供達の芋掘会は感染防止のため中止し、栽培したサツマイモは地域の子供達がいる各家庭に配布しました。</p> |



「ならこーぷ環境保全活動助成」事業決定までの流れ

2020年度は21団体から応募があり、審査の結果21団体に総額で84万円助成しました。

応募要項

(1) 応募資格

奈良県内で活動する団体・グループ・サークル等（個人は除く）

(2) 助成の対象

地域の自然環境、地球環境の保全に関わる以下の活動を助成の対象とします。

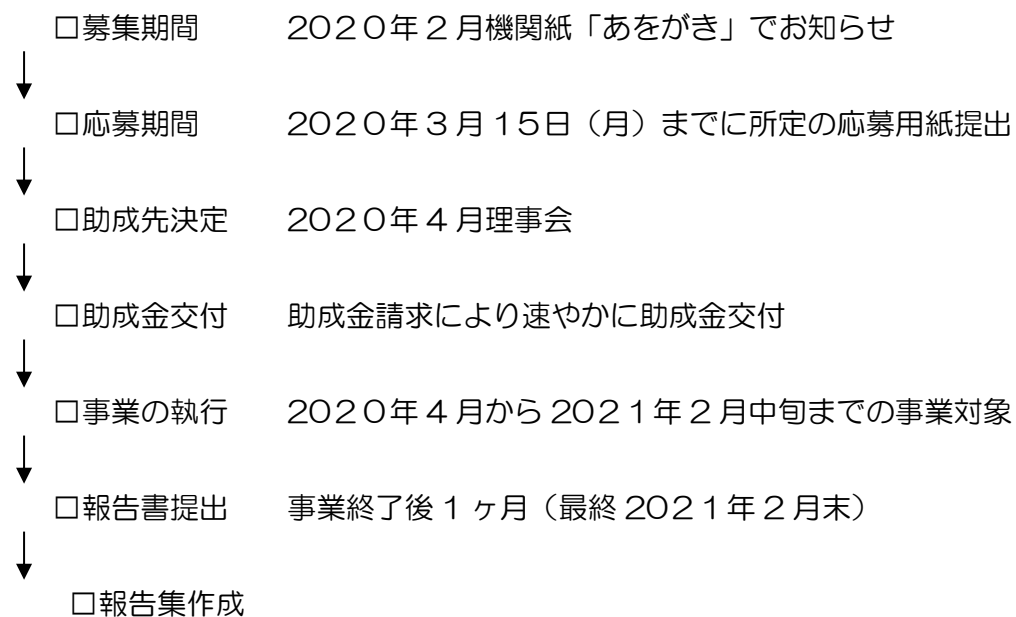
調査・研究活動、教育・啓発活動、政策提言活動、環境保全の実践活動

(3) 助成の基準

1件5万円を上限とし助成します。

募集年度では同一団体への助成は1件のみとします。

(4) 助成の流れ



市民生活協同組合ならコープ

〒630-8136 奈良県奈良市一丁目2番2号

TEL: (0742)33-79528 FAX: (0742) 34-8060

ホームページ <http://www.naracoop.or.jp/>



国際規格である ISO9001・2015 品質マネジメントシステム及び、
ISO14001・2015 環境マネジメントシステムの認証を取得しています。

本冊子は、古紙パルプ配合率 70%以上の紙を使用しています。

2021年5月
環境エネルギー推進部 発行